

# LAME導入手順

## LAMEとは

LAME（レイム）は非常に優秀なフリーのMP3エンコーダで、音声ファイルであるWAV形式ファイルをMP3形式ファイルに圧縮変換することができるプログラムです。

しかしLAMEは、そのままだとコマンドを文字で入力しないと動かすことができず、初心者には使いづらいソフトです。

そこで今回はLame Ivy Frontend Encoder（LIFE）というLAME専用のフロントエンド（操作パネル）を導入して、簡単に操作できるようにして使います。

## 準備編

### 1. フロントエンド（操作パネル）を入手

<http://kkkkk.net/?key=soft.life>

からLame Ivy Frontend Encoder（LIFE）をダウンロード。

解凍したら適当に好きな場所にフォルダを置けばインストール完了。

（削除したい時はフォルダごとゴミ箱に放り込むだけ。）

### 2. LAMEを入手

<http://www.rarewares.org/mp3-lame-bundle.php>

ここからLAMEをダウンロード。

releaseが安定版、betaはそこそこ安定版、alphaは実験中。ぶっちゃけどれでも良いと思う。

### 3. lame.exeをインストール

入手したLAMEファイルを解凍したら、その中からlame.exeをコピーして

1で解凍したLIFEのフォルダ（life.exeのあるフォルダ）にコピペ。

### 4. 起動

life.exeを起動させればlame.exeが認識される。これで準備完了。

## エンコード編

### 1. ファイルの追加

[ファイル追加]でファイル追加。またはwavファイルをD&Dで放り込んでもOK。

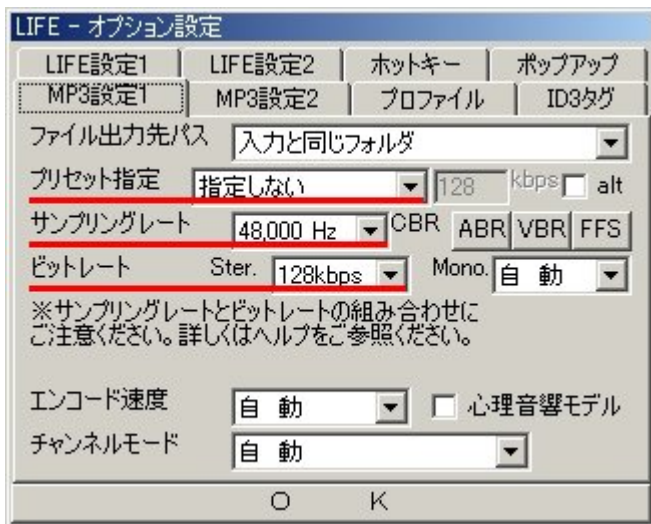
LAMEでエンコードに使えるファイルは.wavだけ。

### 2. エンコード設定

[オプション設定]でエンコード設定。普通の音楽の時はプリセット使えばいいけど今回は手動。

- ▶ プリセット指定 「指定しない」
- ▶ サンプリングレート 「44,100Hz」、「CBR」選択
- ▶ ビットレート

Ster. ビットレートを選ぶ。今回は128～160kbpsぐらいだと思う。



### 3. エンコード開始

[エンコードモード]にチェックが入っていることを確認して、  
[全曲変換開始]または[一曲変換開始]でエンコード開始。

### 4. MP3完成

ウェーブファイルと同じフォルダにmp3ファイルが吐き出されているはずです。